



# スイカ

芝山経済センター  
営農指導員 能勢 浩一

# 農業 テクニカル ダイアリー

Agricultural-work technical diary



# 春レタス

販売開発部営農振興課  
営農指導員 松本 有希子



## 作型と品種

春どりレタスは、ハウスまたは露地トンネル(写真①)で栽培します。主な作型としては、11月下旬に播種、育苗日数は約40〜50日で、1月に定植、おむね60日後の3月下旬に収穫を迎えます。

## 育苗

セルトレイへ播種する場合は、128穴または200穴を利用します。レタスは、発芽において光を必要とする作物ですので、覆土はごく浅くコートが見えるか見えない程度が良いでしょう。

育苗初期の灌水は少量とし、天候に合わせて1日数回程度行い、乾かないようにします(トレイ当たり約0.5L)。育苗期後半では、べと病の発生が懸念されますので加湿にならないようにしてください。発芽が間近となった頃に被覆資材をはずし、徒長させないようにします。定植前は、苗を順化させ植え痛みを起こさせないようにします。

## 定植

圃場の条件としては、排水性・保水性がよい圃場を選びましょう。レタスは石灰(カルシウム)を要する作物です。

## 播種・育苗

苗の生育は、圃場において安定した着果を促す上で重要な工程となります。穂木を充実させるには、加温前の準備が必要となります。

● 水稻育苗箱への播種量：300粒程度  
● 播種後、軽く鎮圧し十分に灌水する(播種した上に、新聞紙をかける)。  
● 種子にゆっくり給水させてから発芽させるため、一昼夜、床の温度を上げずに放置する(水分が少ない場合、子葉の奇形や発芽の不揃い、子葉から皮が取れないことがある)。

播種後2日目から温度を25〜28℃に上げます。発芽してきたら新聞紙を除去し、乾燥させながら徐々に温度を下げ、地温20℃を維持し、空間温度が25℃を超えないように管理します(温度が高い場合、軸が伸びる)。  
台木の品種選定は、圃場条件により異なります。考えられる圃場条件は以下のとおりです。

- ホモプシス根腐病の発生が予想される圃場：南瓜台木の利用(病害の発生日が高い場合、土壌消毒も必要)
- 生育前半から草勢が強い圃場
- 生育後半に草勢が特に弱くなる圃場

例・かちどき  
例・かがやき  
例・つわもの

すので、不足と思われる圃場では石灰資材の施用が必要です。定植前の土壌診断をお勧めします。

定植は低温期となりますので、土壌水分が多い場合は活着が悪くなります。定植適期の苗は、本葉3枚程度、葉長は4〜6cmが目安です。気温の上昇とともに収穫適期の幅が短くなるので、2〜3月の定植では、播種時期をずらして、一度にたくさん植え、日にちを空けて植えましょう。

## 定植後の管理

結球初期は、トンネル内の温度が高い場合に結球しにくくなり、変形球となります。また、結球後半は、日中のトンネル内が15〜20℃になるような換気に努め、夜間は気温が下がるようであれば、べたがけをしましょう。

## 収穫

収穫の目安は、球の表面に照りが出てきて、触った時に弾力が出てきたことです。適期を逃さないように収穫してください。また、収穫適期の球は極度の低温に弱く、凍害を受けやすくなります。特に1〜2月は外気温が低くなりますので、べたがけが必須です。

## 病害虫防除

外気温が暖かくなってくる3月収穫  
接木は、穂木の本葉がわずかに見え始めたらいります。接木直後は昼が28℃、夜が20℃、床温度は27℃を目安に管理します。

## 施肥

施肥量は、品種や圃場条件により異なります。肥料が多く、草勢が強い圃場では、雄花の質が悪いなどの原因になりますので、注意してください。

## 栽培管理の要点

定植は、地温18℃を確保してから行います。交配の節位は18〜20節を目安で行います。着果を良好に行うためには、葉が柔らかい状態に保つことが重要です(葉が立ち、硬い状態では正常な花芽に生長できず、着果不良の原因となります)。

## 「ひとりじめBonBon」栽培について

現在、黒小玉スイカ「ひとりじめBonBon」の栽培が7月収穫を中心に行われています。販売方法は、契約販売や直売所での扱いが多く、他のスイカとの差別化を図った取り組みが進められています。特徴は、皮色が黒く(写真②)、果肉が鮮紅色で、食感は大玉に近くシャリ感もあり、好評価を得ています。  
栽培に当たっては、左記の点に注意してください。

の栽培では、加湿となった場合、菌核病、灰色かび病の発生に注意が必要です。予防散布を心掛けてください(表①参照)。  
また、最近ではべと病の発生が散見されます(写真②)。症状としては、葉の裏側に白色の胞子をつくり、表側では葉脈に沿った色抜けが起こります。気温7〜13℃、多湿で多発しますので、トンネル内では湿度を下げるように換気をしてください。



写真① レタスの露地トンネル栽培  
写真② レタスのべと病写真(カネコ種苗(株)より)

病害虫草名	薬剤名	使用量・倍率	使用時期	総使用回数
菌核病、灰色かび病	アフエットフロアブル	2000倍	前日まで	3回
菌核病、灰色かび病	スミレックス水和剤	1000~2000倍	7日前まで	5回
べと病	レーバスフロアブル	2000倍	7日前まで	3回
べと病、灰色かび病、菌核病	アミスター20フロアブル	2000倍	7日前まで	4回
腐敗病・軟腐病	スターナ水和剤	2000倍	7日前まで	2回

● 小玉だが大玉に近い施肥量で行う。  
● 台木は、圃場での生育後半に草勢が維持できる品種を選択する(生育が弱い場合、皮色の黒色が薄くなりやすい)。  
● 整枝は、5本整枝4果どり(草勢が維持できれば5本整枝5果どり)。  
● 灌水：6月下旬〜7月は高温期となり、水分を必要とする時期。必要に応じて、ベット内のチューブ灌水、通路灌水を行う。  
● 病害虫防除：高温期の栽培のため、褐色腐敗病、炭そ病の病害や、アブラムシ、ダニの虫害が多くなるので、適宜、防除を行う。



写真③ 黒小玉スイカ「ひとりじめBonBon」

合計8点	
サトイモ	1点
玄米(ちばエコ)	1点
ゴボウ	1点
ミニトマト	1点
サツマイモ	1点(緑の風)
サトイモ	1点(緑の風)
大根	1点(インショップ)
ゴボウ	1点(インショップ)

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

多成分一斉分析	合計8点
残留農薬分析点数	合計8点